

# クライアント/サーバ方式によるスケジュール管理サブシステムの構築

1S-6

赤木正治 井上 啓 東田武夫  
古谷憲一 近藤幹雄 山形毅章  
西日本旅客鉄道株式会社総合企画本部

## 1. はじめに

JR西日本では、クライアント/サーバ方式による総合OAシステム・スケジュール管理サブシステムを構築し、平成5年春より使用開始している。

会議室予約、応接室予約及び来訪者受付予約の機能でスタートしたが、事務改善運動とリンクさせてオフィス改善に取り組んでいる。

本稿ではこのシステム構築事例を紹介する。

## 2. 主な機能

機能は端末の利用者により、3つに分類される。

表1 主な機能

No	端末名	機能名	
1	各部設置 端末	来訪者受付 ・ 応接室予約	登録・更新 ・ 照会等
		会議室予約	登録・更新 ・ 照会等
2	受付窓口 設置端末	受付	受付予約検 索
3	防災センタ- 設置端末	システム管理	マス-等管理 、集計管理

ユーザー部門は、各部設置端末により会議室予約、応接室予約及び来訪者受付予約を行う。

受付窓口では、入力された予約データをもとに、来訪者の案内を行う。

防災センターでは、システム管理機能を使用して、マスターのメンテナンス、データのバックアップ、各部別の会議室・応接室使用状況集計、来訪者受付状況集計の参照を行う。

各端末別機能を表1に示す。

## 3. システム構成

本システムは、サーバ1台と複数のクライアントをLANで接続して構成され(図1)、サーバに各種予約情報及びマスターを登録し、クライアント上のアプリケーションプログラムよりアクセスする。

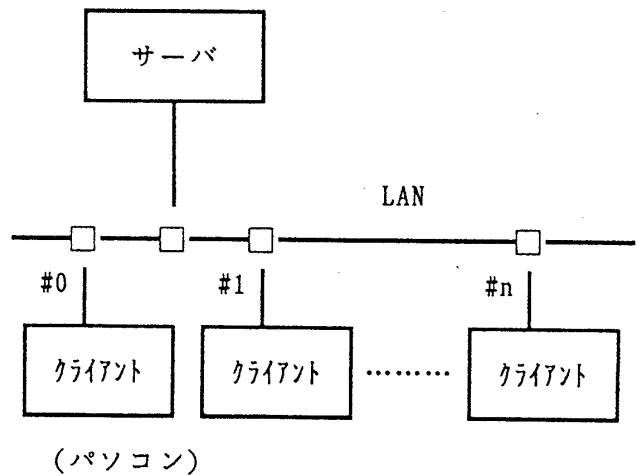


図1 システム構成図

Construction of a Schedule Management System on The Client-Server Model.

Masaharu AKAGI, Akira INOUE, Takeo HIGASHIDA, Ken-ichi FURUTANI, Mikio KONDOU, Takeaki YAMAGATA  
WEST JAPAN RAILWAY COMPANY

#### 4. システム構築の進め方

本システムの構築にあたり、その進め方についての特徴は次のとおりである。

- (1) 既存資源活用による開発規模の抑制
  - ・新本社ビル移転時に整備したネットワークインフラ及び単独使用の既存パソコン活用により極めて短期間で構築できた。
  - ・新規設備はサーバ及びパッケージソフトのみですみ、構築費用を抑制できた。
- (2) サーバ導入による省資源化
  - ・パッケージソフトはサーバへ登録し、各端末起動時にそれぞれのメモリへダウンロードする形として、ディスク等の省資源化が図れたほか、既存パソコンの活用を促進できた。
- (3) 主管部門主導の構築による円滑な運用
  - ・主管部の当事者意識による機能検証により、システム機能の改良を図るとともに、ユーザーと一体となった総合運用訓練実施により、円滑な運用開始を可能とした。

#### 5. 運用方

運用にあたっては下記によるルール及びシステムの制限を設け、オフィス改善を図っている。

- (1) 会議室予約
  - ・会議は2時間以内とし、それを超える場合は事務改善推進担当の許可が必要となる。
  - ・会議室の予約は翌月末日まで可能とし、それを超える場合は守衛長に申請する。
- (2) 来訪者予約及び応接室予約
  - ・アポイントの予定が入った場合、必ず入力する。
  - ・アポイントの予約がないお客様が訪れた場合、それが予定されていたものかどうか把握する。

ルールの徹底及び予約操作方法については、各部でスケジュール管理のAリーダーを選出し、周知・指導の深度化を図っている。

運用者の役割分担を表2に示す。

表2 運用者の役割分担

No	運用者	役割
1	スケジュール管理 O Aリーダー	・ 主管部利用者への指導等
2	守衛長	・ ユーザーの問合せ対応 ・ マスター管理 ・ データのセーブ（毎日）
3	事務管理課	・ 会議室特例申込受付
4	情報システム室	・ システム障害対応

#### 6. 今後の課題

従前、会議室予約、応接室予約及び来訪者受付予約は申請書を守衛長に提出する形で行われていたが、紙による管理が煩雑なうえルールの徹底も図りにくい状況であった。

本システムを使用することにより、各予約業務が簡素化されるとともに、会議室使用実績及び来訪者受付実績の集計結果により、各部別の実施状況を把握することが可能となった。

今後、各部別の利用状況の公開等により、スケジュール管理意識のさらなる向上を図ることとしている。

最後に本システム構築に当たって御指導、御支援を頂いた関係各位に謝意を表し、結びとしたい。